

2023年10月12日
一般社団法人日本船主協会

第50回川崎みなと祭りに海事PRブースを出展
～クイズを通して海事産業を学ぶ～

当協会では、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性や魅力を広く一般の皆様にご覧いただけるよう、船舶や海事施設の見学会や海事PRブースの出展等の広報活動を全国各地で開催しております。

10月7・8日(土・日)に、神奈川県川崎市にて第50回川崎みなと祭りが開催されました。当協会はこの機会を捉え、(一財)海技振興センター、日本水先人会連合会、日本内航海運組合総連合会、(公財)日本海事広報協会、および(独)海技教育機構と協力し、海運をはじめとする海事産業の魅力を紹介する海事PRブースを出展いたしましたので、その模様をお知らせします。

当日は会場近辺で川崎市主催の川崎港クルーズなどが開催されるとともに、飲食店の屋台等のほか、横浜税関等関連団体のPRブースも出展し多くの来場者で賑わいました。また、7日(土)10時には周辺に停泊中の船舶による汽笛吹鳴が実施されました。



海事PRブース

加えて、船員という仕事を意識していただくべく、希望者へ(独)海技教育機構からお借りした子供用船長制服の着用体験を実施しました。

海事PRブースでは、海運にまつわるクイズを出題し、参加いただいた方に、当協会ならびに各団体よりご提供いただいたノベルティをプレゼントしました。

また、当協会のX(Twitter)アカウントをフォローいただいた方にオリジナル海運ミニ袋をプレゼントしました。



子供用船長制服
(独)海技教育機構 協力)



海事 PR ブースの様子

海事 PR ブースには 2 日間にわたり多数の方にお立ち寄りいただき、クイズにも約 350 人の方にご参加いただきました。お立ち寄りいただいた方からは、「海運が貿易量の 99%以上を運んでいることを初めて知った」「乗り物が好きな子どもに資料を見せたい」「川崎マリエン（川崎みなと祭り会場）近くに船が着くことは知っていたが、色々な種類の船があることがわかった」などの声が聞かれました。

当協会は、今後も各海事関連団体と連携しながら、海事 PR ブースの出展をはじめとする各種広報活動を通じて、より多くの皆様に海事産業の重要性や魅力を発信・周知できるよう努めてまいります。

以上